

# 広島平和礼拝2024のご案内

+主の平和が皆さんと共にありますように祈ります。

広島平和礼拝は19年前の2005年から始まりました。今年2024年は広島・長崎の原爆犠牲者への追悼と共に、これまで以上に世界各地の深刻な紛争に思いを寄せ開催されることになると考えています。

ウクライナとロシアの間では、2022年2月の軍事侵攻以来、戦闘が続いており、いまだ多くの尊い命が失われています。また、パレスチナとイスラエルの対立もイスラエルの軍事侵攻により双方多くの民間人の犠牲が絶えません。宗教的・歴史的な対立を乗り越え、お互いの人権と尊厳を尊重し合う関係を“互いの祈り”のうちに築くことが重要だと考えます。わたしたちは昨年、広島平和礼拝2023でのカトリックとの共同プログラム「祈りのつどい」の中で、ひとりの高校生が祈った、次の祈りの言葉を静かに思い起こします。

「神様、アジア太平洋戦争終結から78年を迎える私たちが、過去の歴史から目をそむけず、地上の平和を脅かし、命と尊厳を奪い去るあらゆる戦争と暴力に対してノーと声を上げることが出来ますように。戦争のもととなる人間の憎しみ、怒り、不信を取り去り、相手を友として大切にしていって世界を夢見させてください。異なる立場の方の声に耳を傾けることが出来る謙虚さを私たちにも与えてください。どうか私たちがいつも平和について考え、平和を追い求める者となりますように」

8月の広島は、今年も猛暑が予想されます。ご自身の体調を整えていただき、「主の平和」のため、広島にお越しくくださるようご案内いたします。

## 広島平和礼拝の目的

- ① 原爆犠牲者を追悼し、世界平和のために祈る。
- ② 次代を担う人たちに原爆の悲惨さ・戦争の愚かさを伝える。
- ③ 「主の平和」を学び、その実現のために活動する。

- 行事名 広島平和礼拝 2024
- テーマ ともに学び、行動し、祈ろう。そして一歩前へ。
- 聖句 『まことに主こそ我らの神。私たちはその牧場の民、御手の羊。あなたがたは今日、主の声を聞きなさい』（詩編95編7節）
- 開催日 2024年8月5日(月)から6日(火)
- 締め切り 2024年7月5日(金) ※申込に関しては右頁をご参照ください。

## ■ プログラム

5日(月)

13:00 受付開始

〈広島復活教会〉

15:00 被爆証言『平和の種まき～平和の実現は一人ひとりから～』

〈広島復活教会〉

18:30 平和のためのつどい(カトリック教会との合同行事)

〈平和公園供養塔前〉

6日(火)

6:15 原爆死没者慰霊行事

〈平和公園供養塔前〉

8:00 広島原爆逝去者記念聖餐式

〈広島復活教会〉

司 式: 主教 オーガスチン 小林尚明 (日本聖公会神戸教区主教)

説 教: 司祭 マルコ 柴本孝夫 (日本聖公会九州教区福岡聖パウロ教会牧師)

### 被爆証言者プロフィール

月下 美孝 氏



1942年12月3日生(広島市)。2歳8か月の時、爆心地より約4km、疎開先戸坂村(現、東区戸坂)で被爆。爆心地より1.8kmの的場町の実家(教会・幼稚園)は原爆により全焼。被爆後30年ころの新聞で「ヒロシマ」を知らない子どもたちが増えていることを知り、腹話術で被爆体験を語り始める。学校、教会等での平和学習等で、腹話術を用い、人形と被爆証言(講演会)を行い現在に至る。

1982年6月4日～20日 広島10フィート運動米国平和使節団の一員(5名)として参加。全米での上映会、対話集会26回、6月12日のニューヨーク、100万人デモに参加。第2回国連軍縮特別総会傍聴。

### 説教者プロフィール

柴本 孝夫 司祭



福岡聖パウロ教会牧師、  
久留米聖公会・  
宗像聖パウロ教会管理牧師  
九州教区宣教局長ほか。  
1994年司祭接手。  
平和への取り組みを大切に  
している。

## ●交通費・宿泊費・食事について

- 原則として、ホテルや食事についても各自で手配いただきたく思います。申込の際に、宿泊先を確保されることをお勧めいたします。
- 食事の提供は予定しておりませんが、プログラムの前後に教会ホールは開放する予定です。ご自由に利用ください。

## ●申込方法

同封の申込用紙に必要事項を記入し、**2024年7月5日(金)必着**で「広島平和礼拝実行委員会」宛で【日本聖公会広島復活教会】まで **郵送**にてお送りください。

お問い合わせは

広島平和礼拝実行委員会事務局 (日本聖公会神戸教区 広島復活教会)

実行委員長: 司祭バルナバ永野拓也

〒730-0014 広島市中区上鞆町 10-11 TEL:082-227-1553